



蛇神の由来

今から三百年前のむかしのことです。布川の村石にKという旧家がありました。たくさん土地を持つ地主で、養蚕も他家より多く掃き立てたりするので、十数人の男女を雇^{やと}って働かせておりました。その時、仙台に近い農村から来て下働きしていた女が、この村の若者と夫婦になってトヨという娘を産みました。トヨはだんだん大きくなって、まわりの人たちから大変可愛がられていました。素直な心で顔立ちも美しく、又利口な娘になりました。十五、六才になると近くの若者から嫁にほしいという話がいくつも持ち込まれました。しかしトヨはそんな話に少しも耳をかたむけようとしませんでした。そして親にもまわりの人たちにも余り口をきかなくなりました。みんなはとても心配して、何とかトヨ女の心をときほぐしたいと思いました。そこでトヨ女と一番仲の良い梅か作のおせんという娘にたのん